

## 認知症に関する活動計画（概要）

秋田県作業療法士会では、年〇回の認知症基礎研修と、年〇または〇回の事例検討会を行っている。事例検討会は、各地域での様々な取り組みの周知や、横のつながりの強化も目的の一つとして行っている。

これまでの研修会でのアンケート結果から、研修会への参加は県中央部での開催だけでは参加が難しいとの意見が一部みられた。これを踏まえ、県南での開催し、次は県北の予定であったが、コロナ禍の影響が大きく頓挫したままある。そこで、対面からリモートによる開催へと変更した。この変更は、デメリットだけではなく交通費や移動時間の節約、参加費の無料化（一部）とメリットもたらし、今後もしばらくは年〇〇回ほどの推進委員の会議や研修会、検討会の開催は全てオンラインでの運営を行う予定である。

## 世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

以前、アルツハイマーデーに合わせて、秋田県理学療法士会からの依頼に応え、コグニサイズの実演や家庭で可能な運動を紹介する資料の配布を行った。これは、主催ではなくあくまで協力した企画であり、継続的な活動には至っていないのが現状である。今年、家族会では、アルツハイマーデーでの企画として介護体験の著者による講演や、世話人との対談など予定されている。

認知症に関わる、自治体や様々な団体とのネットワーク作りを積極的に行い、今後継続した企画運営につなげたい。

## 認知症の人と家族の会との連携事業

昨年度、家族会が月1回主催する集いの会に参加し、それを機にミニ講話の依頼があり、翌月には作業療法や、家族向けの体操の紹介を行った。3度目の参加後に秋田県でのコロナ対策として、会への参加が厳しい状況が続いている。推進委員の参加は困難な中、幸いにも県士会員が1名正会員として参加を継続しており、必要に応じて専門職の立場からのアドバイスや、ミニ講義が行われている。

## COVID-19（新型コロナウイルス）の影響・対応

コロナの影響は、今まで行われてきたほとんどの環境を一変させている。対面で行われてきた推進委員会会議はもとより、事例検討会、認知症基礎研修は全てオンラインでの開催とした。今後しばらくは、現状の対応を続ける予定である。



## 認知症作業療法基礎研修および事例検討会

8月〇日に令和3年度第〇回の事例検討会を行った。3症例の事例検討に、特別講演、意見交換会とプログラムのにもより充実させるものとなった。9月には令和3年度認知症基礎研修（アップデート研修）の開催予定である。また、第〇回の事例検討会では、参加者より次回の検討会に向けて事例紹介を考えている会員もあり、少しずつではあるが、秋田県においても、認知症作業療法に積極的に関わる作業療法士が増えてきていると実感する。推進委員の活動もよりステップアップしたものを提供できるよう、今後も他県士会や協会からの情報を収集し、秋田県に即した研修会・事例検討会の運営を図りたい。